

事務事業評価表（建設事業等）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月31日
2次評価日（課長等）	31年3月31日

1 事業名	岡谷湖畔公園整備事業			コード	153204	
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者	福沢 武雄
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち			
		政策	都市空間の充実	施策	公園の整備	
		予算科目	(予算なし)	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 (簡潔に)	諏訪湖畔の水と緑のシンボルゾーンとしての特性を活かし、憩いとやすらぎの場、健康づくりの場、スポーツ、文化の交流の場となるよう拠点性の高い公園としての整備を行なう。		
目的	対象者	市民	
	意図	諏訪湖畔の特性を活かし、誰もが利用できる拠点性の高い公園を整備する。	

5 事業の必要性	* 事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由		
<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖と湖畔の水辺空間を有効に活用しながら整備することにより、岡谷市の魅力を高め、市民をはじめ訪れた人にとって憩いとやすらぎ、健康づくり、スポーツ、文化等交流の場となる拠点形成を行なう。現在、散策やジョギング、マレットゴルフ等のスポーツ、各種イベントが開催されており、今後も環境整備を推進することにより拠点性が高まる。 ・長野県、湖周市町で推進しているサイクリングロードの整備、また「諏訪湖かわまちづくり計画」とも連携を図り、より自然環境を活かした拠点整備を進めることができる。 			

6 事業の全体計画	* 各年度の取組計画		
予定全体事業費	6,300,000,000	円	事業期間 (平成元年度から平成20年度) 未定
28年度まで	(横河川～金口水門～湊小田井沢尻は暫定を含めて平成20年度までに整備済) 都市計画区域の変更手続き及び告示（諏訪湖ハイツ～下諏訪境） 岡谷湖畔公園整備計画の再検討（諏訪湖ハイツ～下諏訪境）		
29年度	岡谷湖畔公園整備計画の再検討（諏訪湖ハイツ～下諏訪境）		
30年度	岡谷湖畔公園整備計画の再検討（諏訪湖ハイツ～下諏訪境）		
31年度以降	岡谷湖畔公園整備計画の再検討（諏訪湖ハイツ～下諏訪境）		

7 事業の実施内容	* 各年度の進捗状況		
28年度まで	整備済み面積 約12ha（暫定整備含む） 都市計画区域の変更手続き及び告示 岡谷湖畔公園整備実績なし		
29年度	岡谷湖畔公園整備実績なし		
30年度	岡谷湖畔公園整備実績なし		
前年度の課題への対応	県事業に合わせた公園整備の基本的計画の検討		

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度まで(累計)	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	1,910,658,459	0	0	0
経常経費	1,910,658,459	0	0	0
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
② 人件費		1,600,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数(人)		0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト(①+②)	1,910,658,459	1,600,000	1,600,000	1,600,000
前年度比			100.0%	100.0%
財源				
一般財源	782,993,459	1,600,000	1,600,000	1,600,000
内訳				
特定財源	1,127,665,000	0	0	0
* 特定財源の説明				

●事業の評価 (CHECK)

9 事業の進捗状況

区分	28年度まで(累計)	29年度	30年度	31年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	30.3%	30.3%	30.3%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	<p>(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諏訪湖ハイツから下諏訪境の間を除いて、暫定整備を含めて一通りの整備は済んでいる。 ・ 残された区間の都市計画区域の変更を行なった。
	今後	<p>(31年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残された区域について、県事業との調整を図りながら整備計画を検討する。

●改善の内容 (ACTION)

10 今後の課題と対応策

今後の課題	<p>(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、31年度以降に課題になること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園整備の計画及び事業化に向けて県事業との調整が必要。
課題への対応策	<p>(上記の課題をふまえて31年度に実施する、具体的な対応方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園整備の基本的計画を検討。

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---